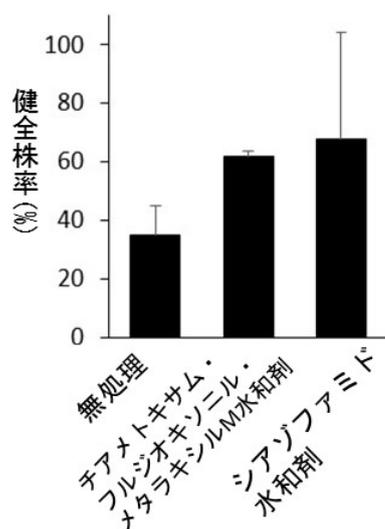


2. 作物(水稲、麦類、大豆、果樹等)技術情報

排水不良圃場での大豆の出芽不良を低減する技術

1. 平成28年熊本地震により、一部の被災農地では作目の変更が想定されます。排水不良の水田転換畑での大豆作では湿害による出芽不良が大きな問題となります。本資料では、地震被災地域の排水不良圃場で大豆を播種する際に、湿害を軽減できる技術を紹介します。
2. 出芽不良の主要な原因の一つがダイズ茎疫病菌であるため、茎疫病の登録薬剤 [チアメトキサム・フルジオキシニル・メタラキシルM水和剤 (約 1500 円/10a)、シアゾファミド水和剤 (約 600 円/10a)、2016 年 4 月現在] で種子消毒を行うことで苗立ちが向上します。
3. 高い位置に播種することで湿害を回避する耕うん同時畦立て播種技術や小畦立て播種技術も出芽不良の低減に有効です。



殺菌剤の種子粉衣処理によるダイズ茎疫病防除効果(参考文献 1. 図 42-1 を改変)



耕うん同時畦立て播種機による播種作業の様子

参考文献

- 1) 加藤 (2014) プロジェクト研究成果シリーズ、504:153-159.
- 2) 細川 (2011) 農林水産技術研究ジャーナル、34(8):40-46.
- 3) 高橋ら (2011) 岩手農研セ研報、11:1-16.